



【社長から～心にとめておきたい言葉】

健康が全てではないけれど、健康を失うと全てを失う。

【まごころ通信】by小峰裕子

第50話 もうひとつのオリンピック

学生時代、部活で汗を流した皆さんは、怪物みたいな相手と競ったことが一度はあると思います。身体能力はもちろん、常人が100回聞いても体現できないことを難なくこなす、抜群なセンスを備えたスーパーマン(ウーマン)。戦えただけでも良い経験です。

オリンピックの日本代表なんて、例外なく怪物ぞろいです。4年に一度のチャンスを手にする運も兼ね備えたスポーツエリート達の祭典、それがオリンピックの舞台です。この冬も多くの感動が生まれました。

「ゴールにたどり着けないことが悲劇ではない、たどり着こうとするゴールを持たないことの方が悲劇だ」パラリンピックメダリストのナタリー・デュトワ選手(障害者競泳)の言葉です。パラリンピックはオリンピック同様スーパーマン(ウーマン)の祭典であることに違いはありません。ただ、想像できますか。「もし自分が明日事故に巻き込まれ両足を失ってしまったら」「もし病気で視力を失ったら」、強く生きることが出来るだろうか、と。オリンピック選手に自分との共通点を見いだすことは不可能ですが、パラリンピックは少し違います。想像もつかないような厳しい環境の中で自分を鍛え、道を拓いてきた努力は本当に偉大です。ついに表彰台に上がった選手のまぶしい笑顔に、強いメッセージを感じます。

幸福は曲がり角の先にあるとも言います。理想と現実の狭間で悩む時、根底にあるのは自分への信頼でしょうか。パラリンピックの「パラ(Para)」はギリシャ語で「並んで立つ」という意味を持ち、「対等」というビジョンに基づいて名付けられたそうです。「もうひとつのオリンピック」パラリンピック出場選手に深い尊敬を抱いています。



■□■———2月の記録———□■□

【今月の自己申告ノルマ:達成】

今月は、酒匂さんが自己申告した売り上げ目標を達成しました。社長より業績給が支給されます。

【今月の売上トップ】

賃貸仲介手数料トップ藤原さん
売買仲介手数料トップ小峰社長



【今月の管理受託物件】

ありがとう

新築 メゾン・プリムラ



【酒匂店長より】

業務報告メモは必ず記入してください。日々の仕事の細かいところまでしっかりと記録に残しましょう

【2月の社内研修会】強制参加

2月8日(火)16:00~17:30

テーマは「アパート経営と利回り その②」講師は小峰裕子さんでした。

社長と飲む日は箱崎の「海門」でした。



【しあわせ倍増コラムのご案内 ホームページ掲載】

小峰裕子さんがWEBコラムを執筆しています。今月のタイトルは『女性と相続』です。HPでは、ブログやフェイスブックなどで日々の取り組みや様子を観ることが出来ます。

<http://taiyo-f.jp/column>

【相続マインズ福岡の研修を開催しました！】

2月3日(土)小峰裕子さんが代表を務める【相続マインズ福岡】第18回定例研修会を開催しました。テーマは「不動産相続における鑑定評価の活用について」、講師は不動産鑑定士の添野敬一氏でした。

2月8日(木)小峰勇治さんが宅建協会無料相談会相談員を執務しました。

2月9日(金)10日(土)11日(日)12日(月)酒匂房信さんがNPO法人相続アドバイザー協議会主催の第42期相続アドバイザー養成講座に参加しました。

【レッツスタディ】No.57 文責:酒匂房信

「お清め・お祓い」について

「土地の売買を考えていますが、お清めやお祓いはどうしたら良いですか？」と質問されることが良くあります。今回は、売買の現場で私達がよく目にする(耳にする)ものをご紹介します。



■地鎮祭(じちんさい)・・・建物を壊し更地になったときに行います。土地に、これまでの家への感謝を伝え、工事着工の安全祈願、そして今後の家庭の繁栄を祈ります。土地の神様への挨拶(許可をもらう)の意味があります。

■魂抜き(たましいぬき)・・・神棚や仏壇など魂が宿るとされている物を移動、解体する際に行います。それぞれお祓いを依頼する先が異なり、神棚は神社、仏壇はお寺に頼みます。宿った魂を一度抜き、それから取り扱うことで災厄から身を守るとされています。

■水神あげ(すいじんあげ)・・・井戸を埋める際に必要とされる儀式です。元来「水」は命の源と考えられてきました。井戸に住む水神様に、これまでの感謝の意を伝える大切な役割があります。

解体現場などを注意深く見ていると、敷地内にテントを張って、神主様や、スーツを着た方々が入り出している日があります。新築のご自宅を建てる際に経験された方もいるかと思います。

実は、これらの儀式は義務ではありません。やる・やらないは本人の自由です。宗教的な考えによるものですので、最近では行わないケースも耳にします。「では、判断基準は？」と聞かれそうですが、ご自身が当事者になられたときは迷うようであれば周りの方に意見を求めてみると良いかもしれません。神事は行っておいて悪いことはありませんので、一人でも「やるべき！」という方がいれば、耳を傾け、不安を無くす事も大事なことです。

日本人は特に神様に感謝や祈りを捧げてきた歴史を持ちます。おそらく上記の神事を行うべきときは何かしらのスタートのタイミングだと思いますので、迷ったときには先人の教えを大切にしてみると、いいスタートに繋がるかもしれません。



■□■—————3月の予定—————□■□

【3月のお誕生日】

3月6日(火)竹内正美さん



【特別社内研修】全員強制参加

3月8日(木)店舗営業は14:00で終了してください。

14:00～ コンプライアンス清掃

16:00～ 社内研修会 テーマは「民法改正に伴う不動産取引の実務」講師は小峰裕子氏です。

18:00～ 社長と飲む日

【月次報告会議】任意参加

3月6日(火)7:40～8:00

8:00～8:30は町内清掃を行います。

【素直塾】全員強制参加

3月22日(木)17:00～18:00

18:00～本会議(任意参加)

【月次営業会議・異見会】店長以上参加

3月13日(火)18:00～19:00

【早朝勉強会】任意参加

3月20日(火)8:30～8:50

テーマは「情報発信の手順」です。

【今月の社員】 尾濱 剛史

最近しみじみと感じるのは「掃除」の大切さです。もともと掃除は得意ではなく、幼少期の頃から自分の部屋も決して綺麗と言えるものではありませんでした。



それが社内で内外問わず徹底的に掃除をしているうちに、その場所に「愛着」が湧いてきている事に気付きました。そして今までは気にも留めていなかった小さな汚れが、気になるようになってきたのです。

最近では、自分の家もこまめに掃除をするようになりました。この「自分で」というのが重要で、自分で掃除をした空間というのがとても清々しい気持ちにさせてくれます。

まだまだ気づけない事も多く勉強の毎日ですが、「整理整頓・掃除」は永遠に自分のテーマとしていきたいと思っています。

